- 保湿力重視の消費者オリエンテッドで考える現状の評価と課題への取組み

エントリーラインとして展開している「〇〇シリーズ」の新規顧客獲得のために、消費者戦略を構築します。

具体的には

- ①「OO」のターゲットとして有効な消費者像を仮説する。
- ②併行してデスクリサーチから「〇〇」を取り巻く競争環境を把握する(実状/背景)。
- ③展開中の「〇〇」について、仮説したターゲットから有効な情報を収集する。
- ④「OO」シリーズのポジショニング **→ 有効な**ポジショニング (コミュニケーションコンセプト) への転換を図る。
- ⑤購買に結びつく○○シリーズの見せ方(LPや販促ツール上で刺さる訴求ポイント・表現(ワーディング等)の 提案。

1 課題の整理

* 直販グループによる分析

- ☆訴求内容(エイジングケア全般)が「○○リペア」のターゲットと重なっている。
- ☆訴求内容(エイジングケア全般の(消費者からみた)ポジショニングが曖昧になっている
- № 1 1 エキスで成分効果訴求ができるのはスキンケアベース液の1品のみこのことがシリーズ全体の訴求力を押し上げられていないのではないか
- ☆メーカー・ブランドに対する知名度がなく、他社との差別化が感じられない
- ☆広告からHPへと誘導したとしても「○○リペア」が目立つため、「○○シリーズ」の位置づけ や特長が分からず「このシリーズは?」となる

ターゲット像が曖昧かつ、適切に商品特長を伝えきれていないのでは?という課題を解決する

- ◆狙うべき消費者の明確化及び有効なポジショニングの明確化
- ◆LP や販促ツールを含むコミュニケーションコンセプトの見直しと改善点の明確化
 - *活動手法は上記①~⑤をご参照ください









2 当社企画・コンサルティング業務の特長

- ◆長年にわたる化粧品市場及び生活者研究に基づく活動
 - ①社内保有資料を活用し〇〇に関わる商品環境を明らかにします
 - ②当社モニターを活用した情報収集を行い提案に活かします
 - ③収集した情報と知見をもとに解決策を具体化します
- ◆確かなターゲティングと提案力 進行に合わせたレポート作成段階において『実売に結びつく』 要素を明確にした提案が可能です

例えば

保有情報も参考にします

医薬品メーカー化粧品の購入実状

トライアルキットの購入状況

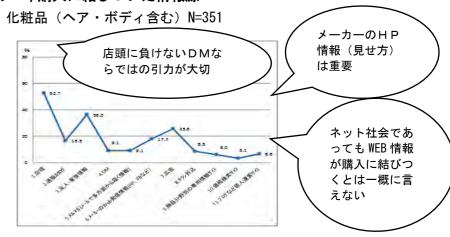


医薬品メーカーの化粧品接点者は 医薬部外品やメーカーへの信頼感を重視する 消費者です

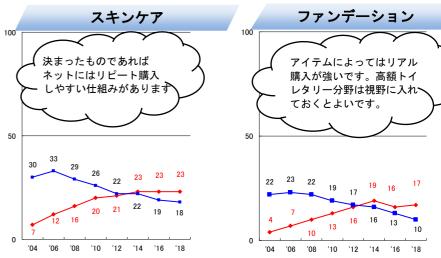


半数程は化粧品トライア ルキットを購入してない 一方、トライアルキット を見れば購入しているの は1割程度

この一年購入に結びついた情報源



通販チャネル利用者(MA回答)の行動



■青色は一般通販、◆赤色はインターネット購入(いずれもMA)

インターネット調査では通販利用者率が高く出る傾向にあります。ネット上の情報も大切ですが、御社の課題に挙げられたように「リアルに消費者とつながるツール」や「HP」などメーカー発情報の重要性は高まっています。

「〇〇」ターゲット像の仮説

情報開示いただいた資料から、ターゲットの考え方をフラッシュします。 「誰に」〇〇を評価してもらうのか、がひとつのポイントです。

例えば

- ☆ 保湿 がスキンケアの基本だと知っていて実践度が高い ➡ 実践内容の確認
- ☆ヘルスケア感度が高く根本的改善に響く
- ☆医薬部外品スキンケアの認知があり取込み経験がある
 - ➡ 取込内容の確認
 - ➡ どんなアプローチが導入の決め手であったか
- ☆通販スキンケアとの接点
- ☆メーカーの研究・独自成分を決め手のひとつにしている
 - 自然成分
- ×
- 効果 × 肌へのやさしさ
- ☆ライスパワーやNo.11エキスに対する認知

季節の変わり目に肌 の調子が悪くなる

乾燥肌·複雑肌 敏感肌 の自覚がある

10年後20年後を みすえた スキンケアを しておきたい

敏感な消費者は「○○」の実感効果を得ることができるのでは?

アンチェイジングとに対するとらえ方は消費者オリエンテッドで考える

*コミュニケーションにおいては「ひとごと」「ありふれた」 印象にならないようにする。

4 商品紹介ツールの検証

本気で取込みを考える消費者の定着を図るため、同梱ツール は重要な役割を果たします。

改善型スキンケアメソッド



*1*2 注釈がどこにあるのか

わかりにくいです 「〇〇」には

肌の土台作り を柱にした改 善型スキンケ アメソッドが あります



これを掲示する時は ツール上もどの商品 に「ライスパワーマ ーク」が付いている のか示す必要があり ます



矛盾のないようにし て消費者に迷いを与 えないようにします

トライアルセットではステップに見える 引き上げツールでは選択に見える

4 商品紹介ツールの検証



No.11 の肌の土台作り(科学的根拠)という特長が伝わります

メソッドを引用するとNo.1の 魅力度がアップします



1

メソッドと商品が 全て連動します

美白(有効)成分が 不明です。 美白美容液ユーザー は美白成分を意識し ています

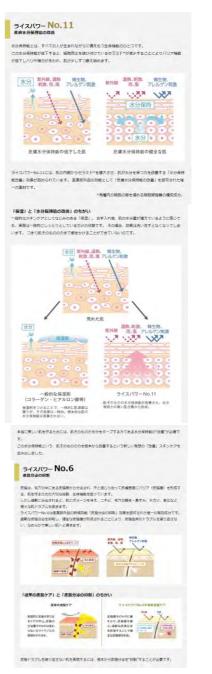
保湿力重視の消費者オリエンテッドで考える現状の評価と課題への取組み

5 「〇〇」強味を仮説



◆消費者が独自性があると感じる要素を明らかにします ライスパワーエキスの効果・効能







6 「〇〇シリーズ」課題解決に向けた活動

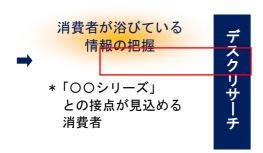
* デスクリサーチによる競争環境の把握と消費者情報収集併行して行います

◆他社にはない○○シリーズ=酒造メーカービューティーケアの世界観を消費者に伝えるための活動

- ➡ 他社が展開するコミュニケーション要素を(ツール類等から)把握し、似た印象にならないよう差別化できる要素を明確にする。
- 狙うべきターゲットや獲得できる可能性のある消費者を惹きつけることのできる、方向性を導き出す。

具体的には

- ☆ "ありがち"に見えるコミュニケーション(表現)からの脱却
- ☆独自性のある酒造メーカービューティーケアの世界観を作り、その中柱に「○○シリーズ」を置く



⇒ ライスパワーシリーズ提供先 が展開するスキンケアとの差別化

同価格帯 通販コスメブランド (保湿訴求・ファーストエイジング) との差別化

- ▶ 肌改善(根本的にアプローチ)コンセプト
- を展開するコスメブランドの研究
- → 保湿効果訴求ブランド(アイテム) の研究
- ◆有効な情報パネルから「○○シリーズ」の改善点を明らかにするための活動

*直販グループ検証結果を含む

(1)メールによる一次スクリーニング後 電話ヒアリング対象者候補を選抜



(2)対象者に「〇〇シリーズ」情報と HP アドレスを提供

* 使用テストを行う場合はネット購入を利用する

(3) 郵送又は Web サーベイで自由記入

アンケートを行い

対象者と随時情報提供を行う



- ①実状・実態から「○○シリーズ」プロモーションに必要な情報を収集
- ②「○○シリーズ」 提示後の評価情報を収集 して改善点の具体化を図 る

*東京都の支援を受けて昨年 導入したシステムを使用します

スキンケア

、ルスケア

7 活動ステップ・スケジュール・予算

STEP 1

2~3W

◆活動目的・活動内容・予算の検討

- * 今回作成している活動内容をベースに調整を行う期間です。
- * (活動予算は50~70万円を想定していますが 指定予算に合わせて活動を組むことが可能です)

活動の具体化

2M

◆情報環境廻りの情報分析活動

レポート

他社コミュニケーション戦略の分析

◆消費者廻りの情報収集活動

当社保有モニター システム通信登録モニター 「〇〇シリーズ」情報開発モニター 選抜対象者 6~8名

レポート

- * ヒアリングレポート
- *Web 情報レポート
- *ツール評価レポート







STEP3

分析&提案

1M

◆現状の問題点・課題の明確化(整理)

- ◆「売り」に結びつけるためのOOシリーズの方向性 (コンセプト提案)
 - ➡ ターゲットに対する考え方・定着が見込める消費者像
 - → 消費者にどう魅せるか「シリーズコンセプト」の明確化 展開アイテム=役割りの明確化 消費者を迷わせないコミュニケーション策
- ◆コミュニケーションの具体案 例えば、訴求内容・コミュニケーションワードなど